

さいたま医療センター開院30周年記念祝賀会を開催しました

さいたま・総務課

記念して4月15日(月)18時30分からパレスホテル大宮において開院30周年記念祝賀会を開催いたしました。

当日は、行政機関、県市医師会、地域の連携病院の方々など多くのご来賓にご臨席を賜ったほか、本学、附属病院及び当センター教職員を含め、総勢約300名での祝賀会となりました。

大石利雄理事長、永井良三学長、百村伸一センター長の挨拶に始まり、清水勇人さいたま市長、金井忠男埼玉県医師会会長、松本雅彦大宮医師会会長からご祝辞を頂戴いたしました。

大林勝臣最高顧問の乾杯のご発声で開宴となり、終始和やかな雰囲気での祝賀会となりました。



挨拶をされる大石利雄理事長



挨拶をされる永井良三学長



挨拶をされる百村伸一センター長



乾杯のご発声をされる大林勝臣最高顧問



○さいたま市長 清水 勇人 様 (祝辞)

さいたま医療センターは救命救急センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院に指定され、地域医療、災害対策の要となる役割を担っていただいております。今やさいたま市にとってはなくてはならない病院となっています。今後もさいたま医療センターに協力をいただきながら、さいたま市の少子高齢化に対応した安心できる街づくりを進めてまいりますので、ご支援ご協力をいただければと思っております。さいたま医療センターの益々のご発展を祈念いたしております。



○埼玉県医師会会長 金井 忠男 様 (祝辞)

さいたま医療センターはさいたま市における基幹病院であり、埼玉県にとっても重要な病院であります。県医師会の活動や医療行政に対し、多くの先生方に協力をいただいていることに感謝を申し上げます。これからの医療で総合医が果たす役割が重要なものになっていく中、自治医科大学附属さいたま医療センターが果たすべく役割は更に大きくなっていくことと思っております。今後の更なる発展を期待いたしております。



○大宮医師会会長 松本 雅彦 様（祝辞）

さいたま医療センターと大宮医師会は非常に良い友好関係にあると思っております。顔が見える連携が確立でき、大宮医師会と自治医科大学がさいたま市内の医療人の確保を進めております。このような関係になれたのも歴代のセンター長、先生方のおかげであると思っております。このような良好な関係が更に深まることを願って、お祝いの言葉といたします。



○埼玉県知事 上田 清司 様（祝電）

自治医科大学附属さいたま医療センターが記念すべき開院30周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴センターには、救命救急センターやがん診療連携拠点病院としての役割等を担っていただいておりますこと、また病院の皆様には、日々地域医療に御尽力いただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

本県の地域医療の発展のため、なお一層の御活躍を御期待申し上げますとともに、御参会の皆様方の御健勝をお祈り申し上げます。

○埼玉県議会議長 齊藤 正明 様（祝電）

自治医科大学附属さいたま医療センターの開院30周年を心よりお祝い申し上げます。貴センターの今後ますますのご発展と、皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたします。

■開院30周年記念誌を発行しました。

さいたま医療センターが開院して30年間のあゆみの記録として記念誌を発行いたしました。

内容は、行政機関、県市医師会からの祝辞、大学関係者やセンター現役職員による随想、関係医療機関や自治医科大学卒業生、センターOB等からの30周年に寄せたお言葉のほか、さいたま医療センターの概況や各部門紹介、各種統計等を掲載しております。



開院30周年記念集合写真（2018年11月撮影）